

●外国ルーツを持つ住民のサポートと多文化交流事業

【団体：一般社団法人レク寺子屋】

委員： 見学した際、日本語検定を取得している方がいたが、そういった方であっても日常で使う言葉の理解が難しいようであった。日本語を学びに来た方から、知りたい日本語の意味を聞かれたときに、正確に教えないといけない。例文やどういう意味かなど、すぐに答えられない質問もある。私たちも日本語を勉強しなければいけない。

同行支援の人員体制はどのようにしているのか。

団体： 平日の同行を3人の交代制で対応している。今後は、多文化共生キーパーソンが3人協力できるとのことなので、柔軟に対応できると思う。

委員： 今後も継続してもらいたい。